

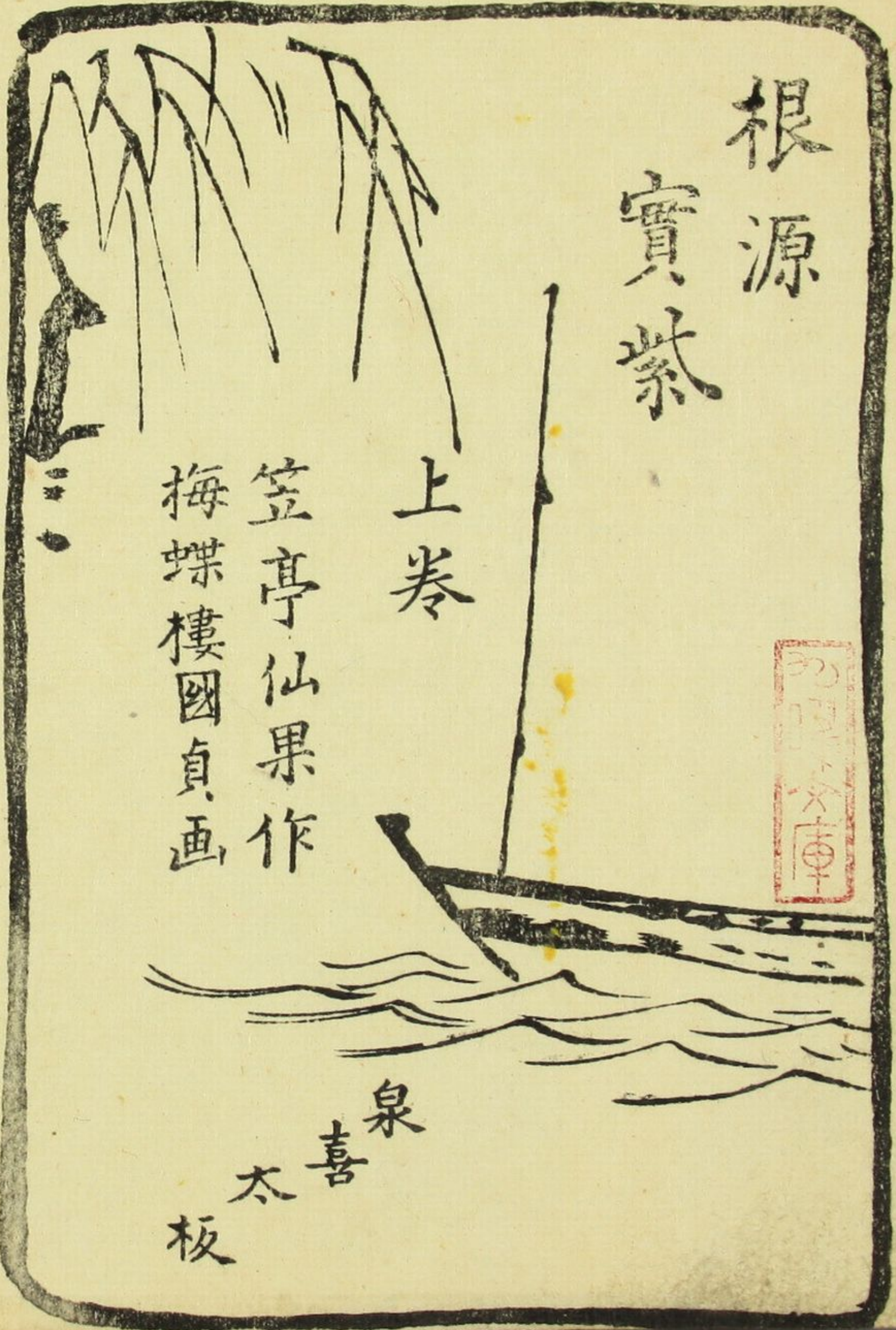
根源實系

上の巻七

9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8

根源

實紫



上卷

笠亭仙果作
梅蝶樓國貞画

泉
喜
太
板

惟規が齋院の女房の許不通る金葉集今昔物語十訓抄
 等に見て木の丸殿の歌詠一話未だ其著るなと新設
 其あつた女房と少將の君とより後拾遺集に惟規越後死
 る期辞世の歌と齋院の少将が許あつたといふ詞書あるに因り又
 めじくもわらぬ梁上君子と本編も作る齋院記正暦三年十
 一月五日盗齋院に入る是れ依て諸御彼の院に参りてあると
 後小惟規木の丸殿の歌と木の伏首とを
 ありし栄花物語詞花集の中これ年月の傳らざる此が本扱
 ことおぼるを貞仲の女と空設を初編をわし何故か定めし
 果つ上件の茶々もわらざる小記憶るなりとと幼童とを
 ら巻首もあつて備忘とす

乙卯春新刊



笠亭仙果



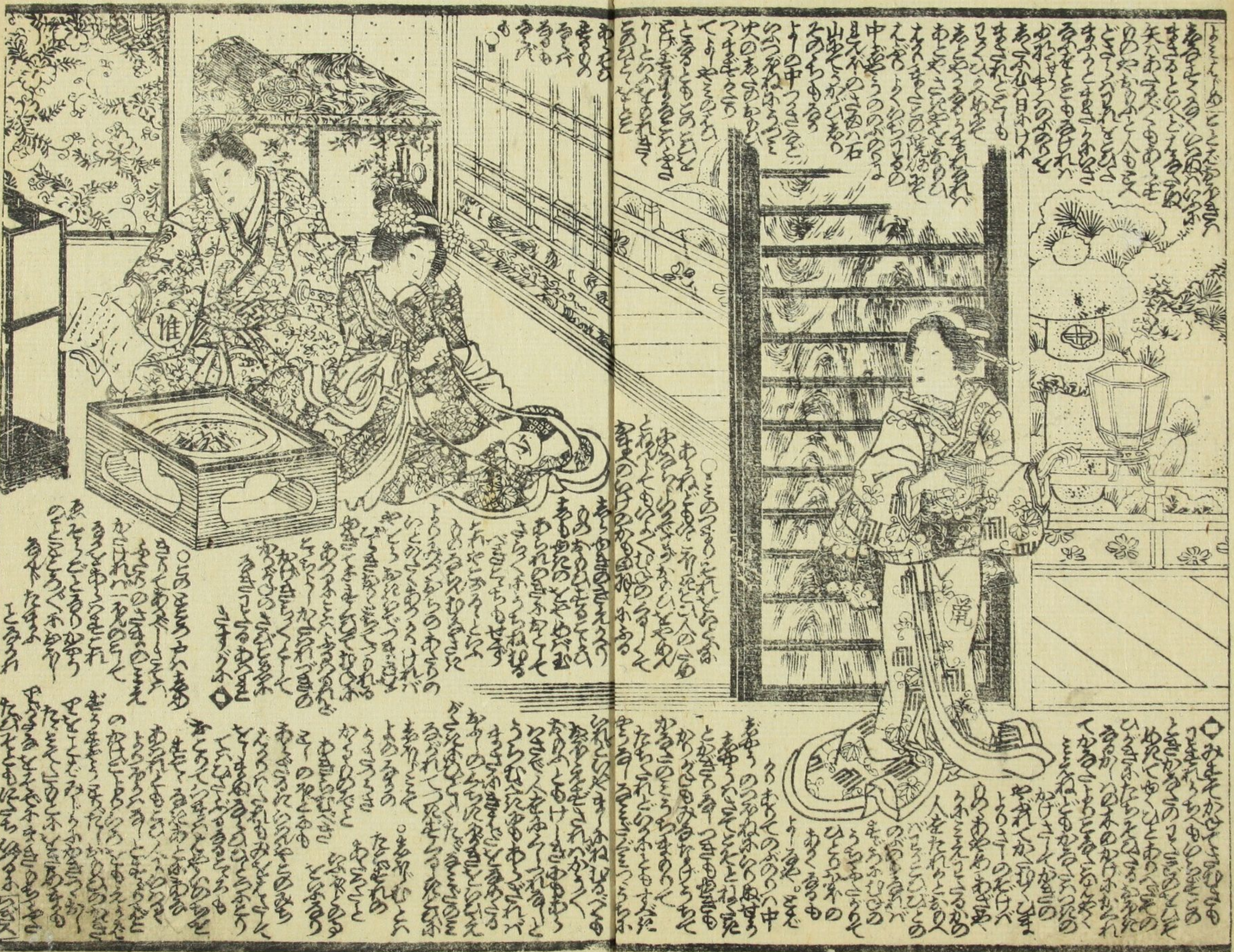


曲立内包

御堂殿道長
邪鬼
人託前
色を切る
右府公
訪せ果す此布
道不声を
さそ邪鬼
みけきり
古事淡の
巻小巻の
儀官の
例の戲
てな作

初小野宮
右府公
訪せ果す此布

御堂殿道長
邪鬼
人託前
色を切る



貞世七

二



Handwritten text in the upper left section of the left page, written in vertical columns.

Handwritten text in the middle section of the left page, written in vertical columns.

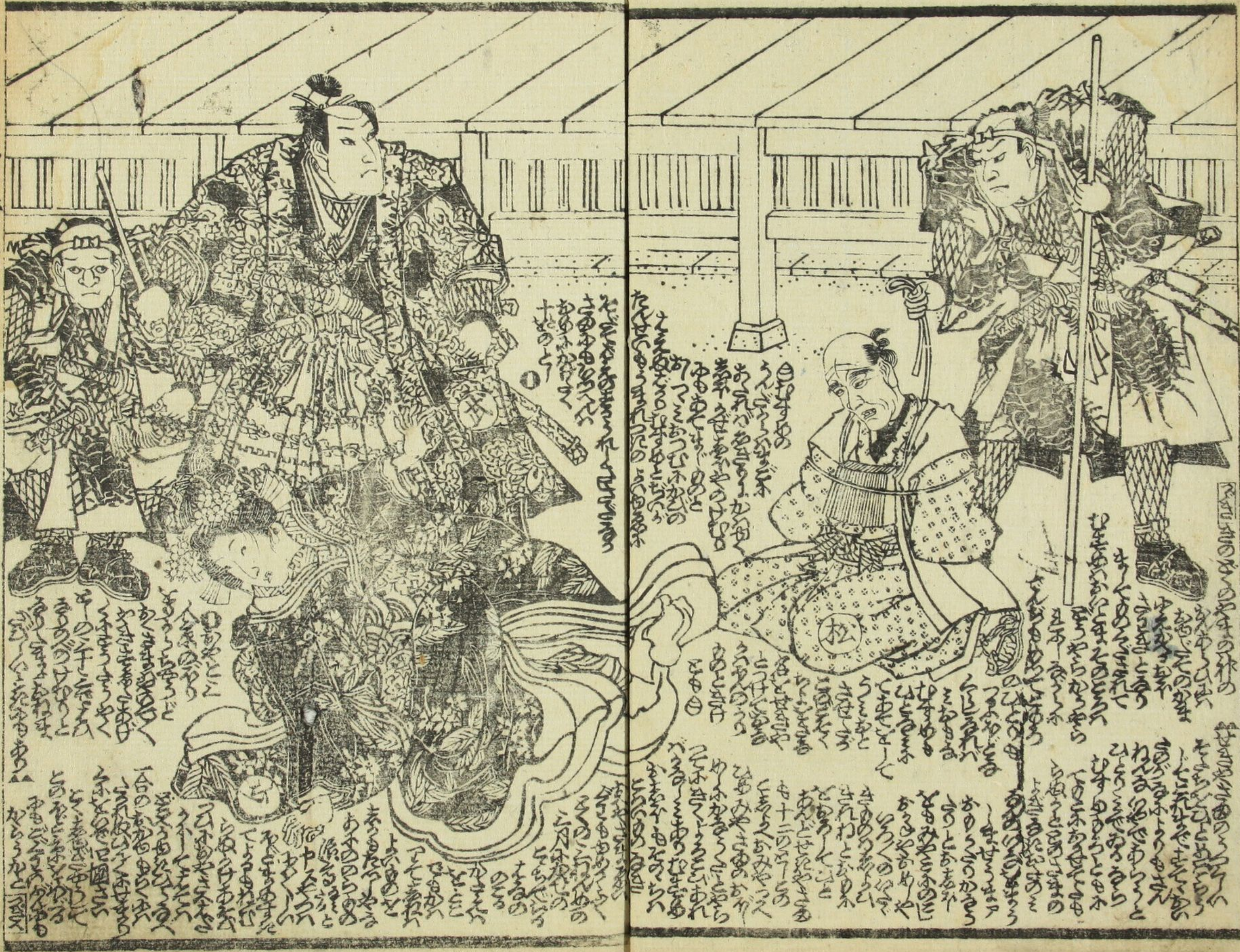
Handwritten text in the lower section of the left page, written in vertical columns.



Handwritten text in the upper right section of the right page, written in vertical columns.

Handwritten text in the middle section of the right page, written in vertical columns.

Handwritten text in the lower section of the right page, written in vertical columns.





仙果作國貞画

曲亭馬琴作

新編金瓶梅全輯

一篇大尾

為永春水作

黃金水大盡盃

柳亭種彦作

琴聲義人録

笠亭仙果作

根源實紫

柳下亭種員作

兒雷也豪傑譚

三篇大尾

柳煙亭種久作

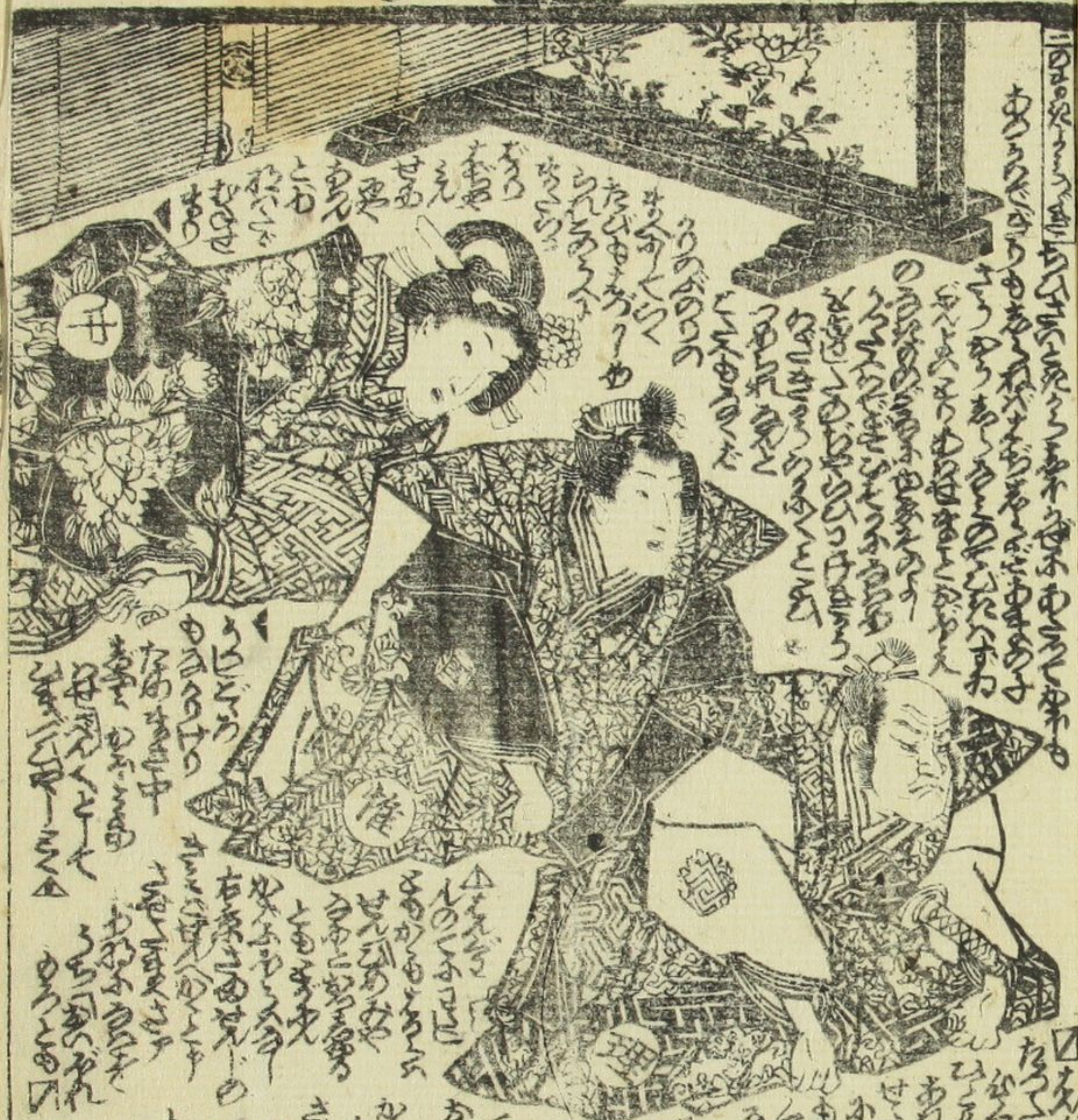
一休草紙

假名
反古

根え
源げん
實み
紫むらさき

下の巻七



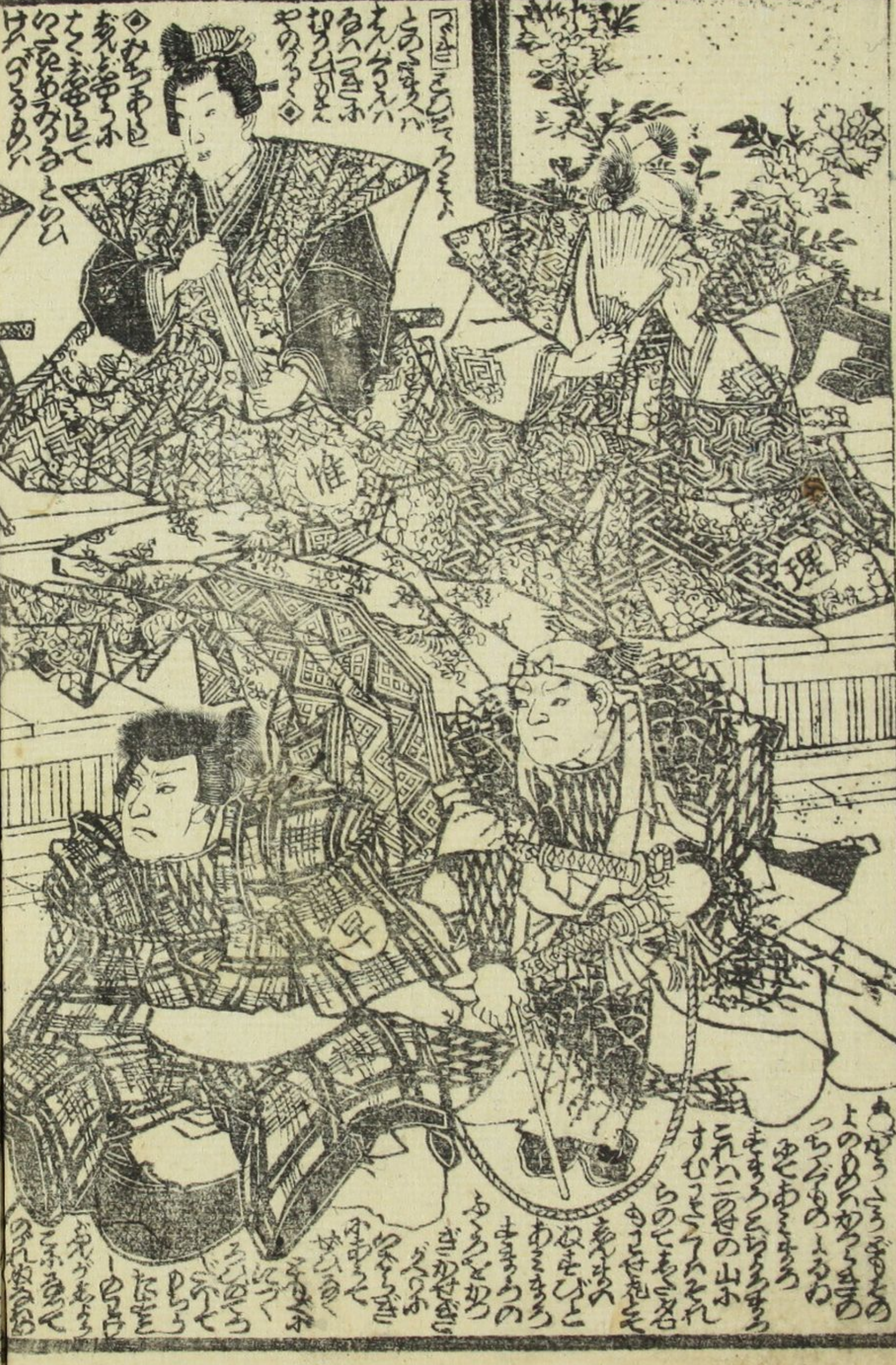
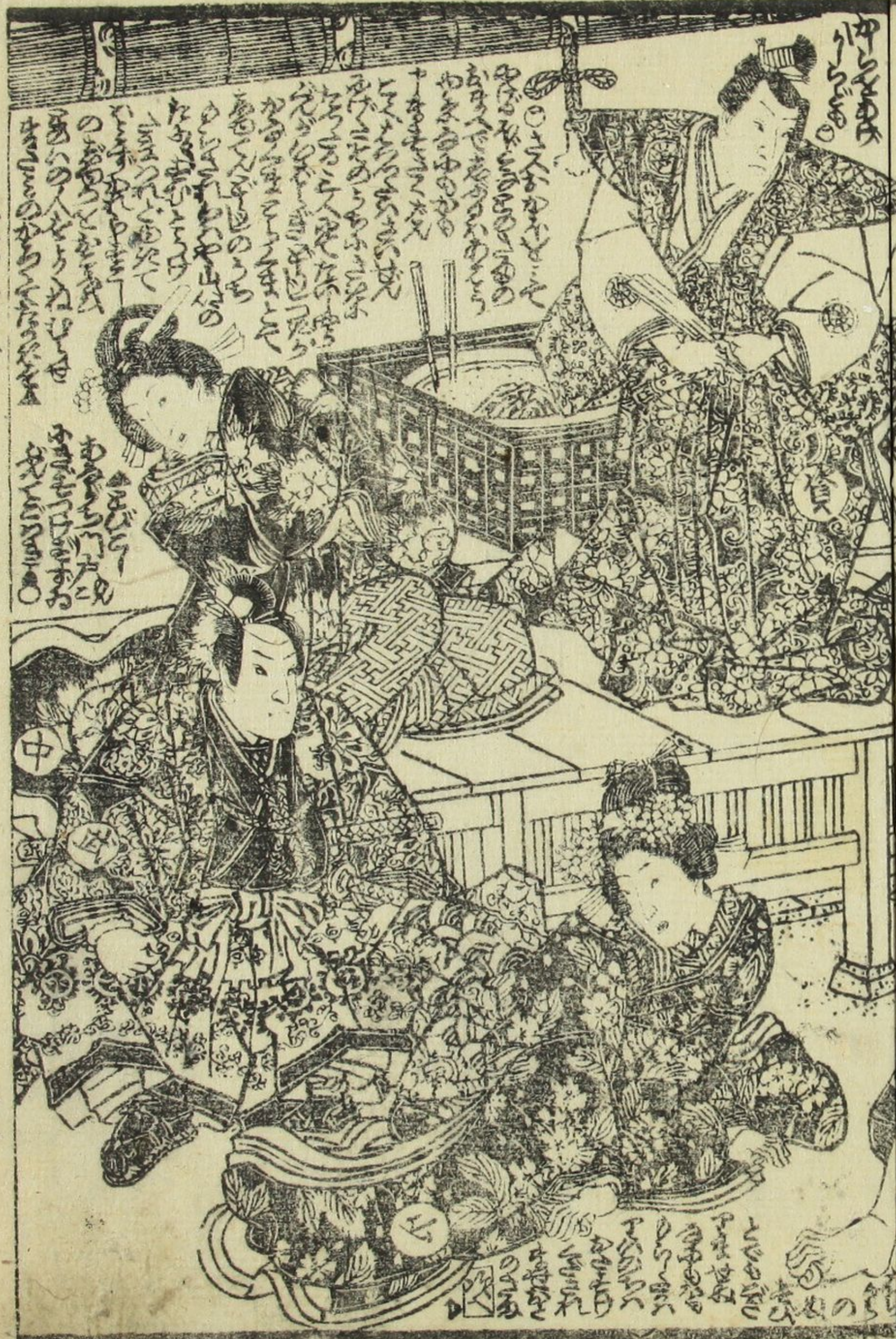


Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration, providing commentary or a narrative. The text is written in a cursive style, typical of Edo-period booklets.

Large handwritten characters in a calligraphic style, enclosed within a thick black border. The characters are arranged vertically and include:

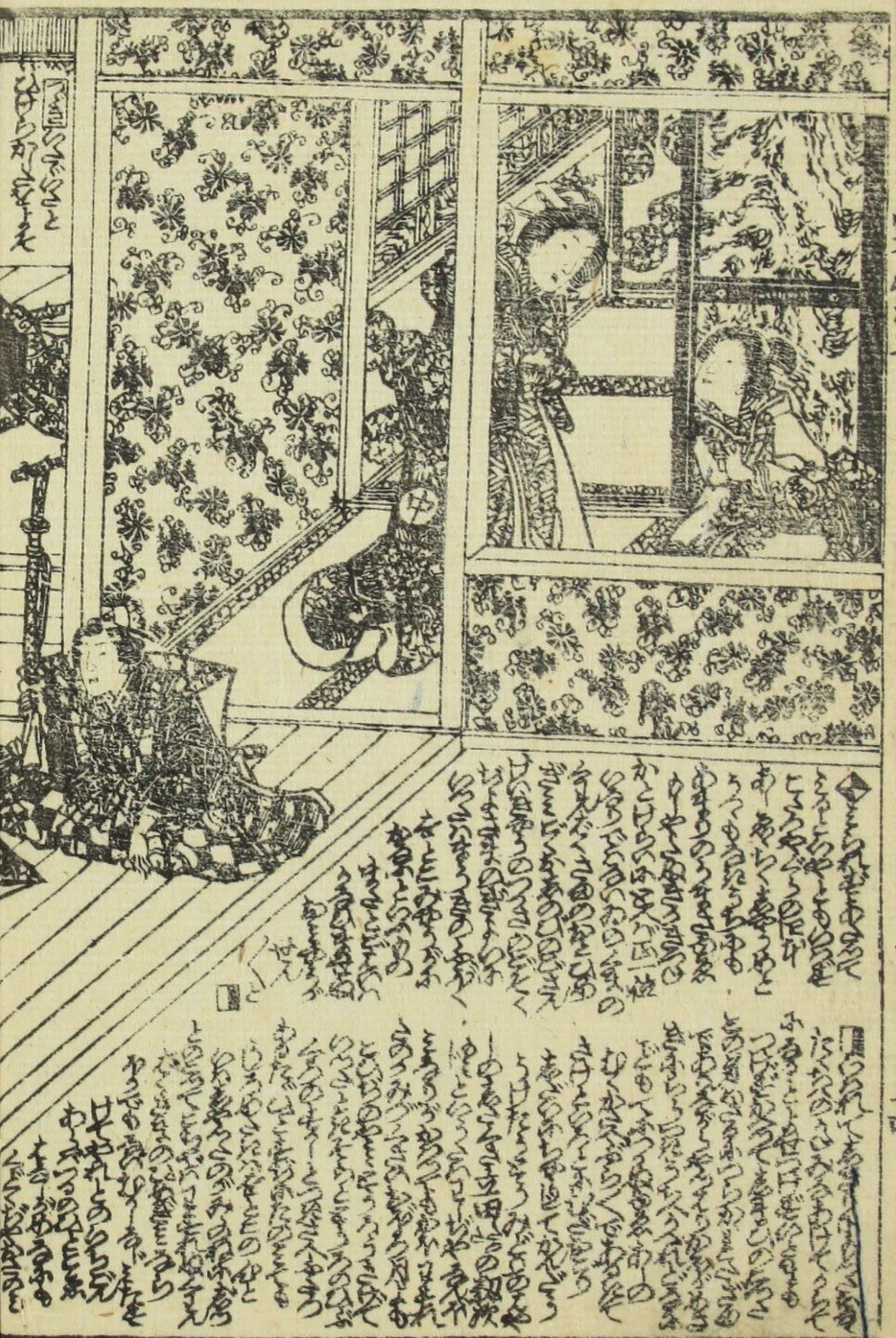
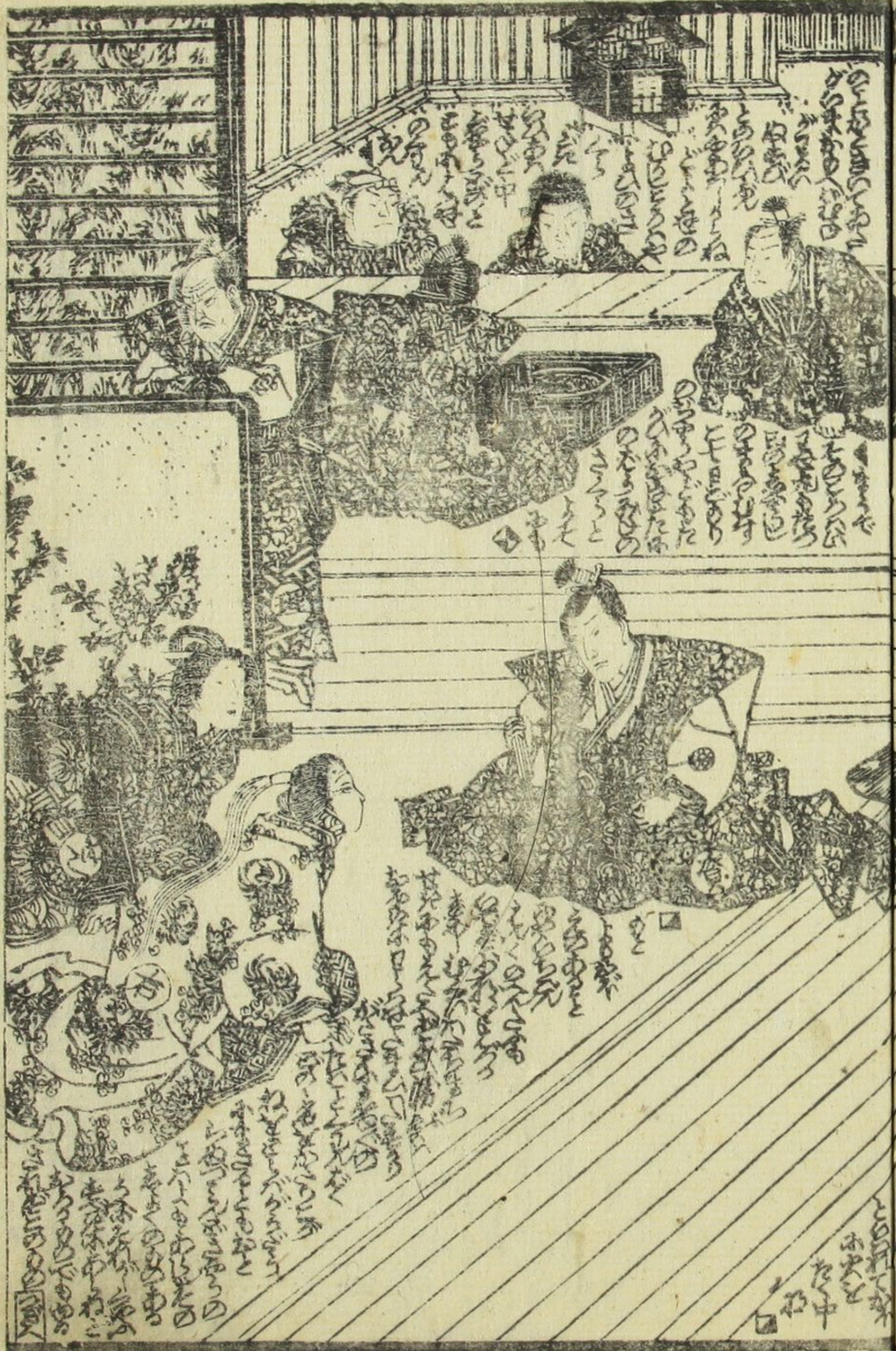
- Top right: 次 (Tsugi)
- Below 次: 人 (Hitotsugu)
- Below 人: 笑 (Tsu)
- Below 笑: 出 (De)
- Below 出: 言 (Kotoba)
- Below 言: 一 (Ichi)
- Below 一: の (No)
- Below の: 口 (Kuchi)
- Below 口: 紅 (Beni)
- Bottom right: 名 (Na)
- Bottom right: 喜太 (Kitai)
- Bottom right: 板 (Ita)





上

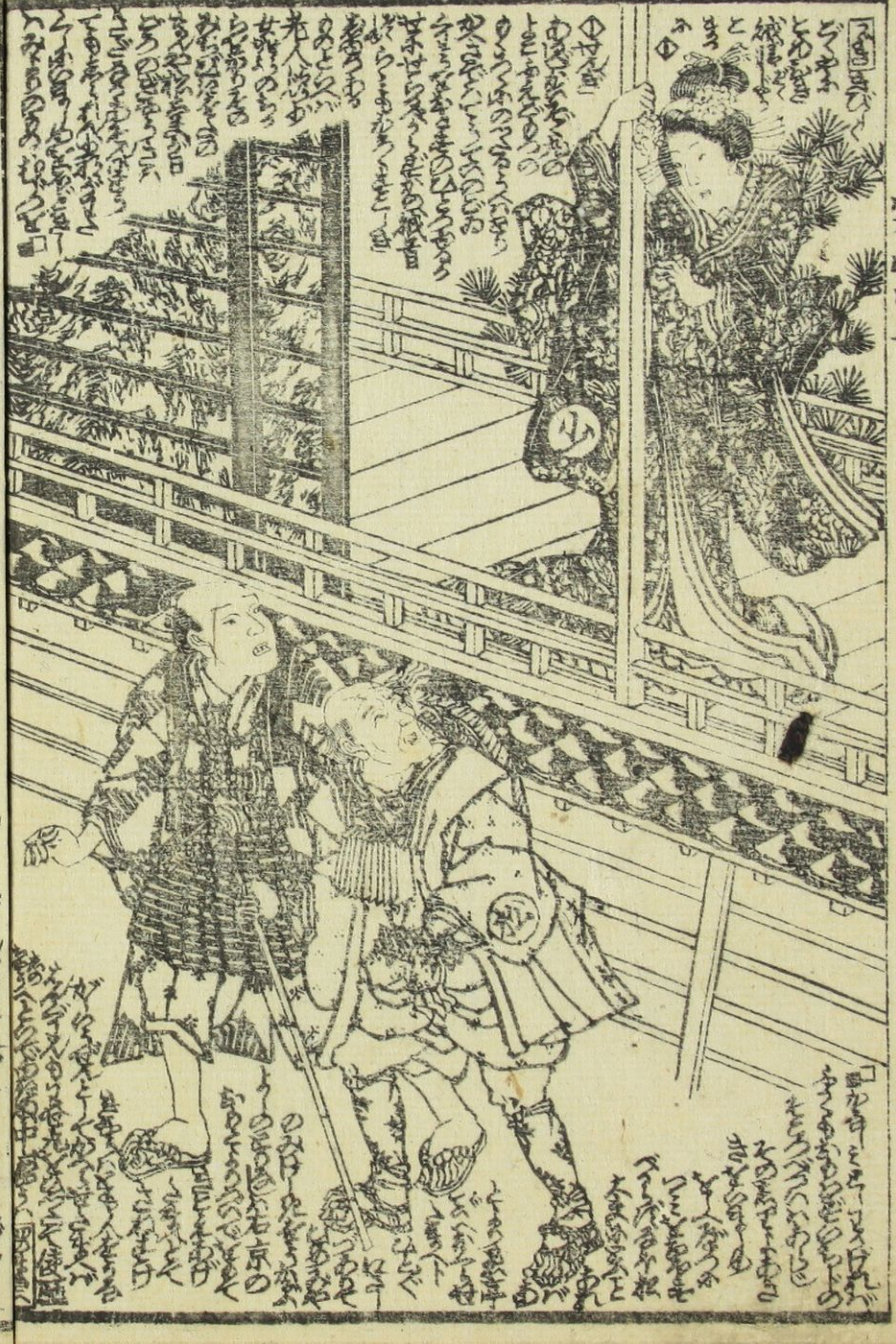
中



Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of a narrative or a list of items.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list from the previous section.

Handwritten text in a cursive script, concluding the section on this page.



Vertical handwritten text on the right side of the illustration, possibly a title or a specific label.

Small vertical handwritten text at the bottom right of the illustration.



ましてかゝる人々も
 つかへらばゆくものなり
 かのうらやまのうらやま
 るるうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま

うらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま

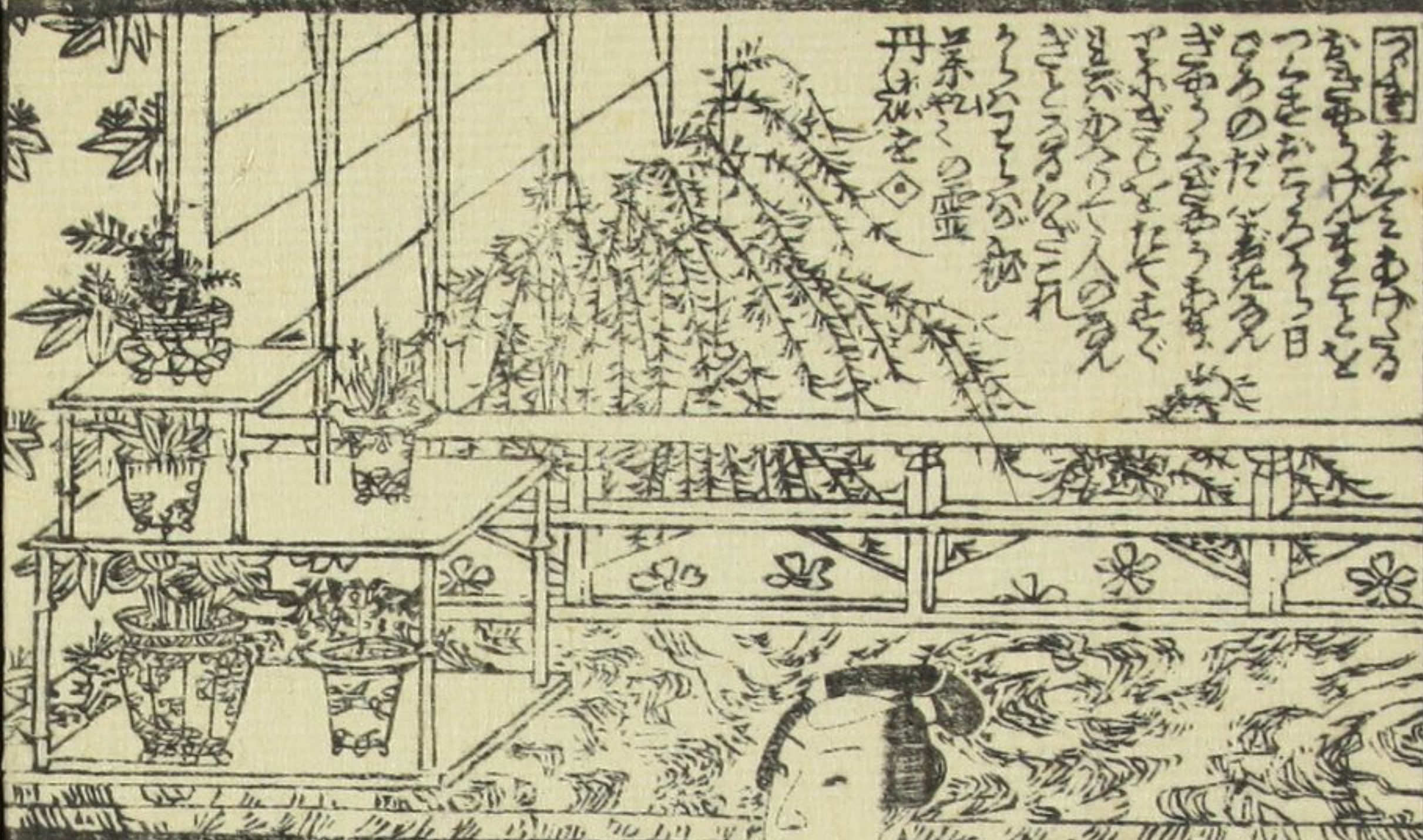
かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま

かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま

かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま

かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま
 かのうらやまのうらやま
 まのうらやまのうらやま

丹波の...
丹波の...
丹波の...



丹波の...
丹波の...
丹波の...

丹波の...
丹波の...
丹波の...

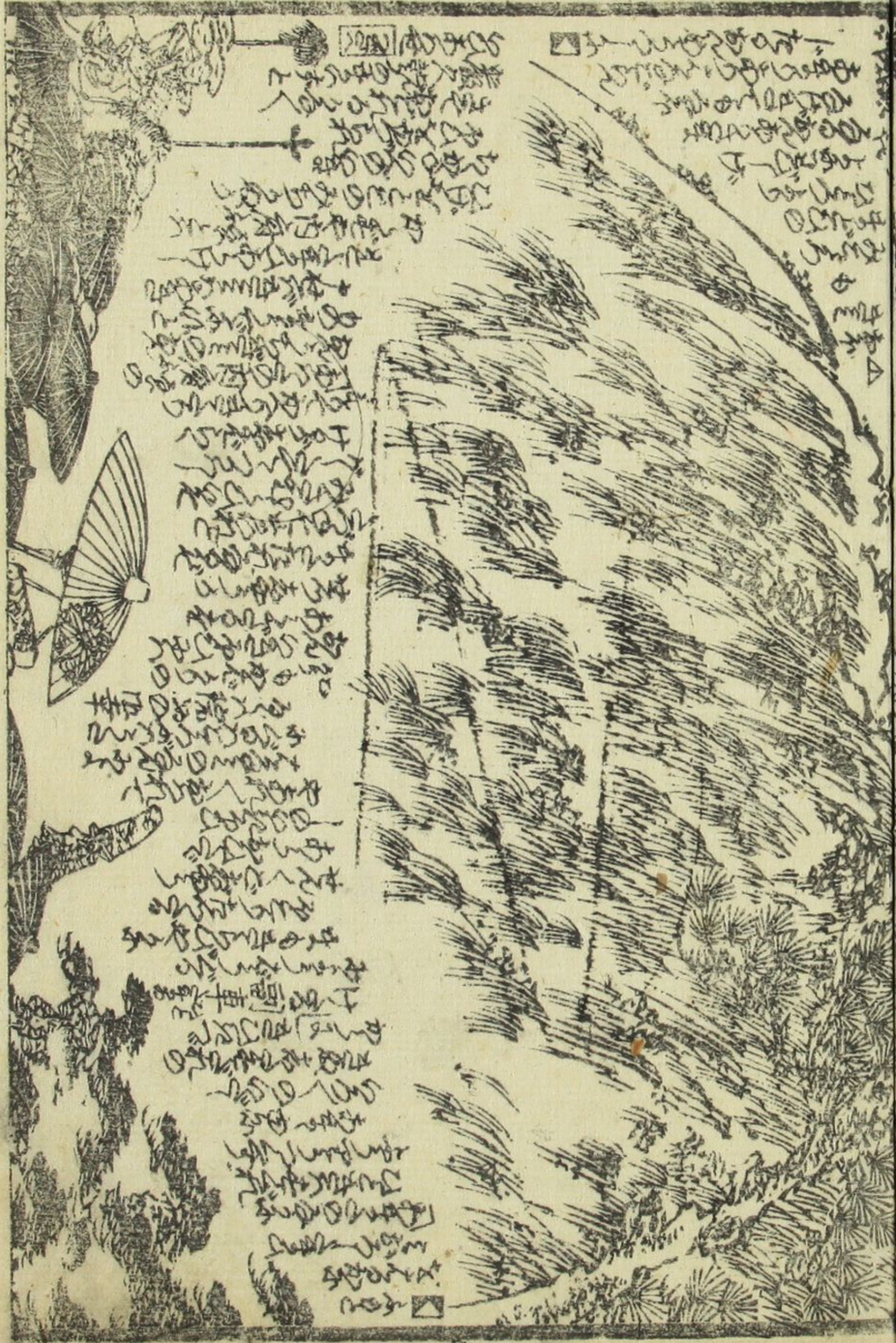


丹波の...
丹波の...
丹波の...

丹波の...
丹波の...
丹波の...

丹波の...
丹波の...
丹波の...

丹波の...
丹波の...
丹波の...

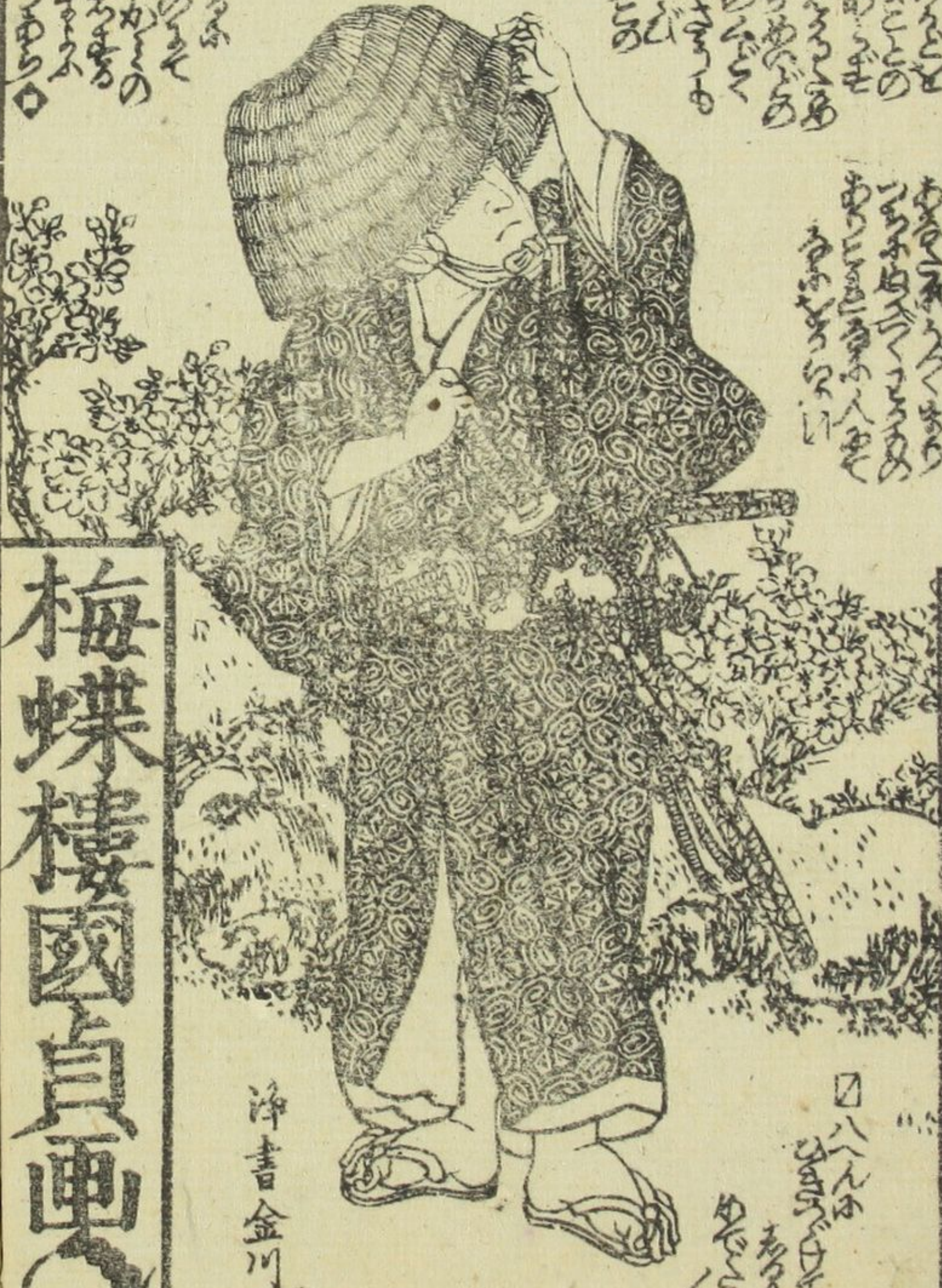


歌集十

下

笠亭仙果作

あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに
あはれな子守のうしろに



浄書金川

梅蝶樓國貞画

十返舎 一九作
滑稽道中膝栗毛

柳水亭種清作
豊時田秋漣新雁

柳水亭種清作
不思議塚小説櫻

柳水亭種清作
猛田姉妹新白石

同
風俗浅間ヶ嶽

関太郎鈴ヶ譚

五篇大尾

京橋区銀座四丁目三番地
出版人 山中喜太郎





種彦作



園貞画

根源

夢の家

甘香の家

香雪

